

脳ドック検診のお知らせ

脳の疾患は自覚症状がないことが多く、症状が出たときには緊急性が高くなり重症化しやすいことが特徴です。働き盛りの年齢に発症しやすいことも問題です。

早期発見、早期治療につなげるために、脳ドック検診を受けましょう。

時 8月1日(土)～令和3年2月28日(日)

所 秋田病院、富士病院(医療機関の選択はできません)

内 検査項目 頭部MRI(磁気共鳴画像)、頭頸部MRA(磁気共鳴血管撮影)など

対 40歳以上の市民(昭和56年3月31日以前に生まれた人)で、会社などで受診する機会がない人

※過去3年(平成29年度～令和元年度)の間に市の脳ドックを受診したことがある人は申込みできません。

※右記①～⑨に該当する人は検診対象外となる場合があります。

※頭痛など気になる症状のある人は医療機関の受診をおすすめします。

定 250人(定員を超える場合、抽選になります。)

¥ 1万円

※70歳以上の人(今年度中に達する年齢)は保険証提示により免除、障害者医療費受給者、精神障害者医療費受給者およびそれと同程度の障がいをもつ人は受給者証の提示により免除、市民税非課税世帯および生活保護法による被保護世帯に属する人は保健センターへ事前申請(※印鑑、身分証必要)し、証明書を実施医療機関へ持参のうえ免除となります。

申・問 6月1日(月)～12日(金)に電話または直接保健センター(☎82-8211)へ。

※初日は大変電話が混み合います。先着順ではありませんので、期間内にお申込みください。

※抽選結果は全員に郵送でお知らせします。電話での問合せには対応できませんのでご了承ください。

※初回受診者を優先的に当選とさせていただきます。

※当選した場合、秋田病院は受診前の検査説明・検査日・結果説明の計3回、富士病院は検査日・結果説明の計2回足を運んでいただきます。

- ①心臓のペースメーカーや刺激電極が入っている。
 - ②妊娠している、または、その可能性がある。
 - ③閉所恐怖症である。
 - ④現在、脳血管疾患で治療中または既往歴がある。
 - ⑤避妊用具のペッサリーまたはリングを使っている。
 - ⑥認知症等の症状がある。
 - ⑦手術等により体の中に金属や機器の埋込をしている。(人工関節、人工内耳、脳動脈瘤クリップ、ステントなど)
 - ⑧インプラント(埋込型入れ歯)やブリッジを装着している。
 - ⑨刺青(アートメイクを含む)をしている。
- ※⑦～⑨に該当する人は施行した病院へ確認後、お申込みください。

6月から特定健診・後期高齢者健診が始まります

生活習慣病を早期に発見、予防、改善するための特定健診・後期高齢者健診が6月から始まります。対象者には5月下旬に受診券兼受診票を送付します。

時 6月1日(月)～10月31日(土)

所 市内の定められた医療機関

対 令和2年度に40歳～74歳になる国民健康保険被保険者および後期高齢者医療被保険者

※国保被保険者で6か月以上入院している人、施設に入所している人、妊娠中または産後1年以内の人は対象となりません。

持 国民健康保険被保険者証または後期高齢者医療被保険者証、受診券兼受診票、健康手帳(保健センターまたは国保医療課窓口で交付しています。)

¥ 無料(ただし、特定健診でがん検診など併用して受診する場合は、有料になる検査もあります。)

○職場等の健診を受診された人へ

今年度職場等が実施する健康診断を受診された場合は、市の健康管理事業に活用するため健診結果をご提供ください。情報提供用封筒や問診票などを送付しますので、国保医療課または保健センターまでご連絡ください。

問 国保医療課 国保年金係(☎95-0123)

国保医療課 医療係(☎95-0151)

保健センター(☎82-8211)

